

■ 異才の建築家

下田 菊太郎

しもだ きくたろう

出身地 仙北市（旧角館町）

1866年（慶応2年）～1931年（昭和6年）

バーナムに師事。日本人のアメリカ建築家免許第1号。鉄骨・鉄筋コンクリート造の最新アメリカ建築法を日本に初紹介。欧風一辺倒の日本建築界に抗し、欧米風の躯体に和風の屋根を載せた帝冠式による近代建築を主唱。



年譜

- 1866年 仙北市（旧角館町）に生まれる。幼名・勝宏。
- 1887年 帝国大学工科大学中退。山口半六に師事する。
- 1889年 渡米。建築修業。シカゴ万博に参加。
米建築家免許取得。
- 八幡製鉄所・赤坂離宮の設計に貢献。
- 1898年 日本に鉄骨・鉄筋コンクリート造建築を伝える。
- 1904年 香港上海銀行長崎支店（重文）を設計監督。
- 1912年 帝国ホテルの設計を依頼され、略設計を完成。
- 1920年 国会議事堂の建築設計変更について、国会請願。
- 1928年 『思想と建築』を出版。帝冠式の主唱者となる。
- 1931年 東京都で没。65歳。